

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)	◎	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着き、全国旅行支援が開始されるタイミングで大きく潮目が変わり、マーケット全体が勢いづく」と推測している。
	○	商店街（代表者）	・祭りが開催されるため、観光客の増加が見込まれる。
	○	スーパー（店長）	・帰省を希望しない人が増え、外出も控えていることから、スーパーへの来店が増える見通しである。
	○	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大して、内食需要は高まっている。食品小売業に関しては、値上げがかなりあったため買い控えがみられたが、客もかなり慣れてきているとみられる。2～3か月後には内食需要と値上げへの客の慣れにより、少しずつ景気は回復していくとみている。
	○	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、行動規制のない夏は3年ぶりで行楽、帰省などの人流はある。来月はお盆を控えていることもあり、特に帰省する人が増加すれば食品の販売伸長には大きなチャンスがある。
	○	コンビニ（経営者）	・人流も活発であり、販売量の微増は当面は続く」と推測される。
	○	衣料品専門店（経営者）	・次シーズンの新商品入荷に当たり、高品質な高額品を求める声が多く、更なる客単価アップが期待できる。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・新規感染者数はいずれピークアウトするが、それが2～3か月先なのか、いつになるのか分からない。しかし、ここまで抑制してきた反動もあるのではないかとみている。
	○	その他専門店〔靴〕（従業員）	・ウィズコロナが加速していくとみている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染の抑え込みが大前提であるものの、消費傾向は今までの反動で少し上向くとみている。
	□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波が収束するという条件がないと、我々の業界は上昇機運にはならない。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・3年ぶりに例年規模で花火大会や祭りの開催が予定されており、たくさんの人出が見込まれている。しかし、新型コロナウイルス感染症が収束しない限り、繁華街に人が戻ることはなく、景気は今と変わらないとみている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・いろいろなものが値上がりしている状況のなかで、どれだけの来客数になるのか分からない。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・政府は行動制限を掛けていないが、ここまで急激に新型コロナウイルス新規感染者数が増加すると、消費者自身が自ら行動を制限する傾向が顕著にみられる。来月のお盆の旅行をキャンセルした話などを耳にすることもあり、景気の回復は難しいとみている。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・状況が変わらないため、現状のまま推移するとみている。
	□	百貨店（経営者）	・夏休み期間終了後の新型コロナウイルス新規感染者数次第だが、客の声を聞いても消費活動のポテンシャルは高いことから、行動規制が行われない限り、今のまま堅調に推移すると期待している。
	□	百貨店（売場担当）	・まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響は大きいことを実感している。やはり今後も感染状況に左右されることになるとみている。
	□	百貨店（催事担当）	・経済活動が活発化すれば新型コロナウイルス新規感染者数が増加するの繰り返しで、先行きが不透明である。食品や生活必需品等の値上がりにより生活防衛意識が広がることも予測される。
	□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大による買物頻度の減少と、値上げによる買い控えがみられる。この傾向はしばらく続くとみている。
	□	スーパー（店長）	・ウクライナ情勢や物価高などにより、消費環境の改善が見込めない。
□	コンビニ（経営者）	・最近も新型コロナウイルス新規感染者数が増加しており、ある程度の規制を掛けながら進んでいくとみられるが、従業員の欠員が心配である。なかなか先が読めない。	
□	コンビニ（経営者）	・客の動きは良くなってきているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が多くなってきているため、今後どうなるか分からない。	

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、行動制限がないままであっても消費マインドは上がらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症の第7波がどうなるか分からない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・景気は小康状態が続いているため、更なる値上げがなければ現状が維持されるとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・依然として飲食業の売上は低調である。夜の人出が少なく四苦八苦しており、ビールの売上は芳しくない。法人のお中元は例年より若干落ち込んでいる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・秋物が動き出す頃で売上は期待できるが、円安や輸送費用の値上がりなどのため、インポート物が値上がりする。価格が上がることで購買意欲のブレーキになる不安がある。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しつつあるが、全ての経済活動が止まるわけではない。今のまざまざの勢いが継続するのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染力が高いため、来客数の減少が続いていくとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・先行きを見通せない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・今後また新型車が出て販売量が伸びず、景気はなかなか良くなっていかないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。感染拡大によるロックダウン等の影響で、新車の生産状況は不安定のまましばらくは変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・現在はやや上向きになってきているが、コロナ禍でのロックダウン等で大きく変動するため先が読めない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・市場における中古車の在庫不足はかなり深刻で、しばらくは我慢が必要とみている。在庫不足・市場価格の高騰・買手が付きにくい・中古車収益減少の構造がしばらく続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・補助金の適用により販売価格の上昇が抑えられており、今後原油コストが下がることがあっても現在の高値は変わらないことから、販売量が増える見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・単価の高騰から店頭ガソリンの販売量が伸びない。夏休み行楽シーズンだが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり伸び悩みが心配される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・物価も上昇しており、客が支出を控える動きが出ている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・第7波がいつ終わるのか。その後またすぐに新型コロナウイルスオミクロン株の別系統が出て第8波が来るともいわれている。新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、悪い状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・来客数は回復傾向になってきていたが、新型コロナウイルス新規感染者数の増加により鈍化するとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に合わせて半導体不足の問題も加わり、年末にかけて通信関係の機器が品不足になっている。このため客に提供する端末の数に調整が必要となり、契約者数の増加に対応できなくなる可能性がある。秋にかけてサービスエリアを拡大した無線インターネットの加入も見込んでいたが、機器不足で大きな増加は見込めない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・好転するような材料に乏しい。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊客が減少している。日帰り客はさほど影響を受けていないが、新規感染者数が増え続けているため、今後は新規感染者数に左右されるとみている。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・全国の新型コロナウイルスの感染状況は拡大の一途をたどっているが、今までのように感染拡大とともにキャンセルが増えるということは今のところない。客は行動制限が掛からない限りキャンセルするという気持ちにはならないようである。このまま感染状況が悪くても、今の状況はキープできるのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・8月以降の新型コロナウイルスの感染状況が懸念材料であるが、急激な悪化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・低調な景気状況が今後も継続するとみている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・依然、客単価が低い。

□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器はエアコンの問合せが急増しており、工事が遅れる状況になっている。リフォームは資材、商品の納品遅れの状況が続く。
▲	商店街（代表者）	・秋にかけて新型コロナウイルスの感染状況の収束は見込めず、電気・ガス・原材料等の価格高騰による物価高もあることから、景気回復には時間を要する。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、不安感が募っている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波と円安の状況による。日本銀行は利上げするのではないかとみている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ここ3か月くらい売上が悪い状態が続いている。ウクライナ情勢の影響でエネルギー価格が上がれば全ての物価が上がるとみており、更なる景気悪化が予想される。
▲	スーパー（経営者）	・資源、エネルギー、原材料の価格上昇は更に続き、製造コストも更に上がり、価格転嫁を進めなければならない。新型コロナウイルスの感染拡大のピークが過ぎても影響はまだ続き、行動制限はなくても自粛傾向は続くともみている。他方、行政の支援制度や補助金等で経営・営業を続けていたところは正念場となり、事業継続が厳しくなることも多々出てくることを危惧している。消費環境の厳しさは今しばらく続くとみている。
▲	スーパー（店長）	・いまだに商品の値上げ対応が続いており、買にくい単価の商品が増加している。この値上げの影響で、より低単価、価格優先の志向が強くなってくと推測されるため、ディスカウント系の小売店へ客が流れていく恐れがあるとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加が懸念されており、お盆の帰省がどうなるか分からない。また、値上げ、地場産品の天候による不作などにより、経済環境に影響が出ることも心配している。
▲	コンビニ（経営者）	・7月中旬までは順調に回復傾向にあったものの、中旬から月末にかけての新型コロナウイルス新規感染者数の急増で、また人の流れが抑えられている。今後も現在の勢いで新規感染者数が増えそうであり、景気は頭を抑えられると予想している。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増えているため先を見通せず、かなり落ち込んでいくとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けると何かしらの制限が掛かり、人の動きも鈍るとみている。全てが新型コロナウイルス感染症次第だが、周りからも先行き不安の話しか出てこない。人手不足も始まってきている。人がいない、利益が出ない、休みがないコンビニの経営は今後どうなるのか見通せない。
▲	コンビニ（エリア担当）	・1度落ち着いた新型コロナウイルス新規感染者数が急増して、社会生活にも影響が出るほどになっている。このまま何の対策もない状態であれば、今後の売上は落ち込むことが予想される。
▲	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で自粛ムードが出てきており、徐々に来客数に影響が出始めている。
▲	家電量販店（店長）	・ガソリン価格や物価の上昇が影響して、客の買い控えが進むとみている。
▲	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない状況のなか、客も自粛生活を強いられることが予想される。
▲	乗用車販売店（従業員）	・もろもろの物価が上昇しているため、現状維持か若干悪くなるとみている。
▲	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が拡大し始めてきている。行動に制限はないが、今後は感染者を増やさないと自粛せざるを得ないため、事業が成り立たなくなる。
▲	住関連専門店（経営者）	・ある程度の売上は見込めるものの、身の回りの人や客との会話から、今月を上回ることは期待できない。
▲	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が見通せないことと、物価高が更に進むとみられることから、全体的に今よりも更に厳しい状況になるのではないかとみている。体力がなくなってきている。
▲	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の状況次第では、来客数は減少するとみている。

▲	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増加傾向であるため、新規の予約が余り増えず、キャンセルが多くなるとみている。
▲	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の第7波に加え、紅葉シーズンが終了した11月は当地では集客は悪くなる。ただし、県民割等の施策が継続すれば悪くはならず、現状維持かやや良くなるということも期待したい。
▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加の影響により、キャンセルが出始めている。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症の第7波拡大の影響で悪くなる。
▲	通信会社（営業担当）	・GDPの成長率は当初の3.2%の見通しから大幅に引き下げられ2%になるとの試算が示されたことから、中小企業への影響は大きいとみている。夏休み、お盆の移動需要に新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、観光産業、飲食業は大きな打撃を受けることが予想される。物価上昇にもかかわらず販売価格は据置きせざるを得ず利益が出ない。よって、やや悪くなるとみている。
▲	通信会社（営業担当）	・身の回りのほぼ全てが値上がりし、今後景気は急速に悪化するとみている。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まりそうにない。
▲	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波の動向が不透明で、物価上昇による家計への影響とあわせて、弱含みの見通しである。
▲	競艇場（職員）	・今月は来場促進イベントを2回行ったにもかかわらず売上が伸びない。2～3か月先は特にイベント等を計画しているわけでもないため、売上は下がると予想される。
▲	美容室（経営者）	・原材料やシャンプー、トリートメントなど商品の仕入単価が上がっている。原価高騰分を販売価格に転嫁することは簡単ではなく、それが経営を圧迫してくるとみている。
▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・新規来場者数が減少するとみており、半年後、1年後の見込み客の減少につながるものと捉えている。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波による新規感染者数の増加が非常に激しく、来客数はどんどん少なくなり、キャンセルが出るような状況になっている。2～3か月後もこの状況は続き、先行きはかなり悪くなるとみている。
×	スーパー（経営者）	・物価の上昇はとどまることを知らず、毎月様々な商品やサービスの価格が上昇している。なおかつ、可処分所得が伸びていない。
×	コンビニ（経営者）	・7月の中旬から新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきて来客数が減少している。特に週末土日の減少が激しくなっており、今後どうなるのか分からない状況である。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・国や自治体を挙げての何かしらの抜本的対策がなければ、悪い方向へ行ってしまうのではないかと懸念している。飲食も販売もどの方向、セグメントも悪い状況であり、輸出等が良いと言っても一部に偏った話なので、先行きが非常に不安である。
×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・日用品の値上げが相次いでおり、今後しばらく買い控えが続くとみている。
×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響は一部ではなく全ての業種に出ているため、2～3か月後の景気は悪くなるとみている。
×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症による宴会の突然のキャンセルが少しある。新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着かなければ商売は安定しない。また、値上がりが激しいため他の同業者も厳しいのではないかとみている。
×	一般レストラン（経営者）	・行動制限がなくとも新型コロナウイルスの感染に対する自己防衛が心理的に働く環境である以上は、消費活動にブレーキが掛かり、景気は下がる一方である。田舎になればなるほどその傾向は強い。新型コロナウイルスに感染しても気にならない程度の症状まで押さえ込める治療薬の開発や分析が進まない限り変わらない。
×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の第7波の新規感染者数が減少傾向に転じない限り、悪化するのみである。

	×	タクシー運転手	・タクシー業界において、良い展望が開けるような材料がない。物価高や客の財布のひもが固いことを考えると希望が持てない。
	×	タクシー運転手	・子供が夏休みに入った日を境に1日の乗車回数が減少している。新型コロナウイルス新規感染者数が急激に増加したことにより、再び高齢者の外出控えて、景気は下降していると推察できる。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業（企画担当）	・政府の施策において、新型コロナウイルス感染症の対策における規制は余りみられない。
	○	食料品製造業（製造担当）	・行政は現段階ではコロナ禍において経済をストップさせるような方向にかじを切っていない。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の集団免疫獲得による経済の活性化に期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・需要に対し半導体及び半導体関連装置の生産がいまだに追いついておらず、今後の受注量の増加が見込まれる。
	○	建設業（従業員）	・受注は順調だが、資材価格の上昇を懸念している。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着かないと人の動きが鈍くなり、売上に影響する。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大している。原材料価格の高騰を販売価格で吸収できていない。業界というより社会全体、特に地方には沈滞ムードが広がってきている。
	□	窯業・土石製品製造業（役員）	・業界として値上げをしたが、需要は増えず減少するばかりである。原材料の価格高騰や燃料費の高騰は続いており、更なる値上げを検討せざるを得ない地区もある。
	□	金属製品製造業（経営者）	・目下の受注状況は好調だが、急激な円安やウクライナ問題などで先行きは不透明である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先が予防保全に対する予算を縮減する方向にある。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・先々の動きはいまだみえてきていない。良い情報は余り入ってきていない。
	□	建設業（従業員）	・ウクライナ情勢において先が見えない状況が続いている。
	□	輸送業（経営者）	・7月に入って当地域でも新型コロナウイルスの感染が急拡大している。当社社員においても感染者及び濃厚接触者が増えており、主要製造業取引先社員でも同様である。その影響で欠勤者が増え、一部の生産ラインに支障が出ている。ただでさえなかなか生産量が増えないときに、更に追い打ちを掛けられている状況である。
	□	通信業（営業担当）	・新規契約につながらなかったとしても、客によりそう姿勢で対応していく。
	□	通信業（営業担当）	・物価上昇の影響で買い控える人が増えている。また、半導体不足の影響がまだ続いており、商品が入ってこない。
	□	広告業協会（役員）	・新型コロナウイルス新規感染者数の収束が見通せず、企業は販促計画の中長期戦略が立てにくい状況にある。予算は確保しているが、様子見状態がしばらく続くため、広告業界は不安定な状況に陥っている。
	□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響次第である。
	□	コピーサービス業（従業員）	・働き方改革の支援で様々な業種の会社へコンサルティングを実施している。コロナ禍での仕事の在り方を変化させる動きがあり、当社の取扱商材が役に立つ可能性が増えてきた。ただし、時間は掛かりそうである。
	□	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・日本経済は大変だというのが、地域を重視してみると余り変化はみられず、需要と供給のバランスが取れている。景気は上向き傾向にあるとみている。
□	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・まだ新型コロナウイルス新規感染者数のピークアウトがみえていないことから、酒販店や飲食店も秋口の企画について控えめな選択にとどまっている。	
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・受注案件、受注量はそれなりにあるが、原価としての原材料・電力料等々経費高騰から、収益面で厳しさが続いている。	
▲	農林水産業（従業者）	・10日頃から、日ざしが少なく梅雨時と同じように曇天の日が続く、ももの甘みが前年より少なく品質は普通である。また、注文数は前年並みできている。	
▲	農林水産業（従業者）	・資材価格の高騰が続いているものの、農産物価格は横ばいのみままで、減収になる見込みである。	
▲	食料品製造業（営業担当）	・燃料費や原材料の価格高騰による製品価格の値上げを予定しており、更なる販売苦戦は避けられない。	

	▲	電気機械器具製造業（企画担当）	・円安により輸入品やガソリン価格が上がっており、全体的に購買意欲が減退するとみている。
	▲	金融業（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大、ウクライナ紛争の長期化、原料高の長期化など、夏祭り特需のリバウンドとともに多数の悪いシナリオが想定される。
	▲	広告代理店（経営者）	・原料価格の高騰と、新型コロナウイルス感染症の第7波による経済活動の不透明化が深刻である。
	▲	司法書士	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が避けられない。
	▲	公認会計士	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、行動規制が行われるかもしれない。そのことにより自粛が必要になるという心理的要因と最近の円安による物価高から消費抑制が進み、サービス、小売、飲食関係の景気は悪くなる。建設関係は現状維持としても全体としての景気は悪くなるとみている。
	▲	その他企業 [企画業]（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波により、当地の交流人口の増加は期待できない。宿泊施設におけるお盆前後の予約も常連客以外は望み薄である。
	×	*	*
	◎	—	—
雇用 関連 (東北)	○	人材派遣会社（社員）	・個人情報関連など、様々な法令の変化や外的環境の変化に伴い、事業自体の変化が生まれ、その変化に関する専門人材の採用が増えている。
	○	アウトソーシング企業（経営者）	・今後5類に引き下げられれば、かなり回復するのではないかとみている。
	○	職業安定所（職員）	・求人数が求職者数を上回っている状態が続いている。
	□	人材派遣会社（経営者）	・2つの理由によりそれほど良くない状況が続くとみている。1つは新型コロナウイルスの感染状況である。収束の兆しはみえず、子供から親に感染するケースが増えてきており、感染者若しくは濃厚接触者が増加し生産活動ができなくなっている。もう1つはウクライナ情勢を含めた物価の上昇である。仕入価格が高騰しているため、利益を圧迫している企業が飲食業を中心に出てきている。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の第7波がどのような影響を及ぼすかで変わってくる。
	□	新聞社 [求人広告]（経営者）	・新型コロナウイルス感染症への慣れと、感染拡大しても行動制限しないという政府の方針により、新型コロナウイルス感染症の景気への影響は少なくなっているようである。一方で、物価高などに伴う経費圧迫によって広告を取りやめる企業も出てきており、影響は大きくなりそうである。海外からの観光客受入れの制限がなくなるまでは大きく改善しないとみている。
	□	職業安定所（職員）	・主要産業の製造業では新型コロナウイルス感染症による中国でのロックダウン等を教訓に、製造拠点や受注先を国内に戻す動きが継続しており、求人意欲は堅調である。しかし、資材価格や固定費の高騰に苦しむ事業所が多く、景況感を押し下げており、相殺状態が続くとみている。
	□	職業安定所（職員）	・秋口には新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着くとみられ、行動制限が掛からなければ消費はそれほど落ち込まず、景気は余り変わらないとみている。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの感染急拡大の影響は不安材料であるが、企業の採用意欲に旺盛さがみられる今の傾向は継続するとみている。
	▲	新聞社 [求人広告]（経営者）	・新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大で、先行きが全くみえない。
	▲	新聞社 [求人広告]（担当者）	・県内の新規感染者数の過去最多更新が続き、経済の停滞による広告の動きへの影響が懸念される。
	▲	民間職業紹介機関（職員）	・生産量の見直し等を実施している企業も出てきている。
	▲	学校 [専門学校]	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響が大きくなる。国や自治体により対応が分かるところもあり、医療機能の維持が経済活動の維持にもつながる。
	×	人材派遣会社（社員）	・足元で求人数の伸びが鈍化している。新型コロナウイルスの感染状況によりサービス業の求人数は上下するが、全体としてインフレ懸念及び米国の景気減速など、日本経済の主軸業種への影響は避けられず、既に一部で求人抑制の動きが出てきている。